

2005/12/02 太田寿一

古典的手法の説明とその効果—ドルコスト平均法とは

ドルコスト平均法は、定期的に“一定額”の株式（債券）を買い付ける方法のことをいいます。この手法は、価格が高いときには少なく、価格が低いときには多く買い付けるため、コストを抑えることが出来ます。

例を挙げて説明します。ここではライブドア（4753）の株式を、ドルコスト平均法を用いて購入する場合で考えてみます。（購入するのは毎月1日、2005年3月～12月までの10回。毎月の投資資金は1万円とする）

月日	株価	購入株式数	保有株式数	平均株価	株式時価額	株式取得額	利益額
3 / 1	363 円	27 株	27 株	363.0 円	9,801 円	9,801 円	—
4 / 1	310 円	32 株	59 株	338.9 円	18,290 円	19,995 円	-1,705 円
5 / 2	319 円	31 株	90 株	333.3 円	28,710 円	29,997 円	-1,287 円
6 / 1	306 円	32 株	122 株	327.8 円	37,332 円	39,991 円	-2,659 円
7 / 1	397 円	25 株	145 株	344.8 円	57,565 円	49,996 円	7,569 円
8 / 1	489 円	20 株	165 株	363.6 円	80,685 円	59,994 円	20,691 円
9 / 1	489 円	20 株	185 株	378.3 円	90,465 円	69,985 円	20,480 円
10 / 3	457 円	21 株	206 株	388.3 円	94,142 円	79,989 円	14,153 円
11 / 1	434 円	23 株	229 株	393.0 円	99,386 円	89,997 円	9,389 円
12 / 1	583 円	17 株	246 株	406.5 円	143,418 円	99,999 円	43,419 円

5月1日及び10月1日は休日

株式時価額は、株価×保有株式数

株式取得額は、平均株価×保有株式数。なお小数点以下は切り捨て

手数料は考慮しないものとする

以上のことから、ドルコスト平均法について以下の特徴をうかがうことが出来ます。

投資リスクの減少

高い株価で購入するというリスクを抑えることが出来、株価が上昇しているときは市場価格より安く購入することが出来ます。

短期投資には適さず、長期投資に向く

当然のことながら、株価が下がっているときは利益が出ません。長期的に値上がりする銘柄に投資することが重要です。

参考：投資のノウハウ <http://www.vanguardjapan.co.jp/education/education10.html>

マネー＆マーケット <http://markets.nikkei.co.jp/>